

# 鳳仙寺護持会 会計報告

寺報を利用して報告させて頂きます。護持会費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、一口三十円となっており、院号戒名の付いている家は、二口以上のお願いとなっております。今年度の護持会費は、四月から八月のお盆までの間に役員さんにお願いし、市外の方は郵便振替にて集めております。未だの方はお盆期間中に本堂で受付けておりますので宜しくお願い致します。墓地掃除代も集金させて頂きます。

〔平成26年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

収入の部		支出の部	
繰越金	11,035,681	曹洞宗宗務庁宗費	1,304,100
平成25年度護持会費	3,267,000	建物共済	41,160
利息	1,216	桐生環境保全 浄化槽掃除	31,420
利息	1,323	森田電気工事 各所修繕	199,800
		振込手数料 森田電気工事	432
		教区総代住職新年会	20,000
		鳳仙婦人会助成金	50,000
		護持会費郵便振込手数料	60,830
		小計	1,707,742
		次年度繰り越し残金	12,597,478
合計	14,305,220		14,305,220

内訳・普通預金残高 12,597,478  
現金残高 0  
修繕積立金(1,835円利息) 9,030,700  
合計 21,628,178

平成27年4月29日  
上記の通りご報告申し上げます

鳳仙寺護持会筆頭総代 石原 竹雄  
鳳仙寺護持会 会計 坪井 良樹  
鳳仙寺護持会 監査 岩崎 岑生



お位牌見

常磐殿では、ご先祖様のお位牌を安置しております。お位牌をまだ安置していない方で、ご希望の方がおりましたら、随時お申込みを受け付けています。

◎お問合せは、お寺まで  
電話 0277 (32) 1177  
FAX 0277 (40) 6000

申込者には、上記の「先祖代々位牌」作成し常磐殿お位牌堂にお祀り供養を致します。



常磐殿内

# 鳳仙

発行 桐生山鳳仙寺  
桐生市梅田町一丁目五八  
電話(0277)311117  
E-mail: info@hosenji.or.jp

常磐殿に先祖位牌を安置しませんか?

## 鳳仙寺 木管三重奏 スプリングコンサート

五月二十三日(土)鳳仙寺本堂にて、『霊境の地に響き渡る木管三重奏』と題して鳳仙寺スプリングコンサートが開催されました。主催はNPO 法人 Presso Musicale x'n。西尾 郁子/桐朋学園大学音楽学部卒・大学研究科修了、ロイヤルチェンバーオーケストラ首席奏者を経て東京ニユ

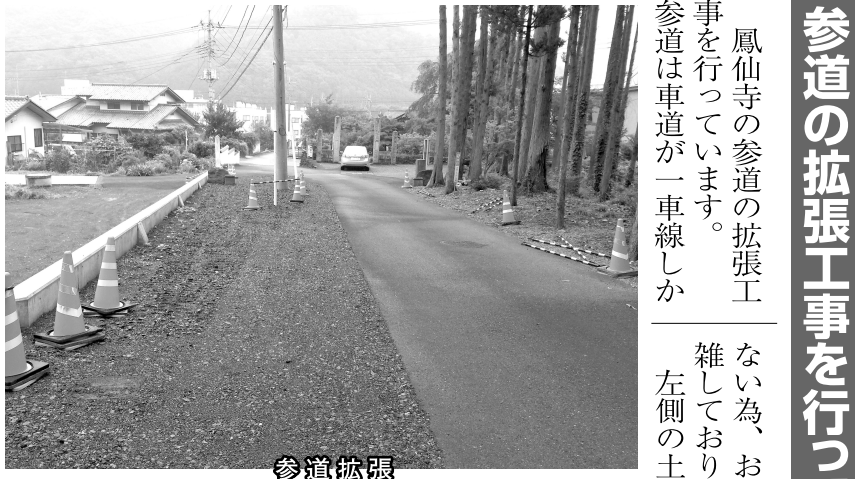
### 5.23日 桐生山鳳仙寺トリオ・ダンシュ コンサートプログラム

- ジャック・イベル (1890-1962)  
トリオのための5つの小品  
I アレグロ・ワイフ  
II アンダンティーノ  
III アレグロ・アッサイ  
IV アンダンテ  
V アレグロ・クワジ・マルツァーレ
- フランシス・ブランク (1899-1963)  
クラリネットとファゴットのためのソナタ(1922)  
I アレグロ  
II ロマンズ  
III フィナーレ
- L.v. ベートーヴェン (1770-1827)  
モーツァルトの歌劇『ドン・ジョヴァンニ』のARIA  
「お手をどうぞ」のテーマによる変奏曲
- 休憩
- ジャン・フランセ (1912-1997)  
ディヴェルティスマン  
I プレリュード  
II アレグレット・アッサイ  
III エレジー  
IV スケルツォ
- W.A. モーツァルト (1755-1791)  
ディヴェルティメント第3番 変ロ長調 K.439b (K.Anh.229-3)  
I アレグロ  
II メヌエット  
III アダージョ  
IV メヌエット  
V ロンド

三重奏によるコンサートで、主な出演者は以下のとおり  
◎オーボエ 高崎 智久/ドイツ・リユールベック音楽大学卒 東京交響楽団で客演首席奏者を務める  
◎クラリネット



1シテイ管弦楽団首席奏者 ◎ファゴット 石川 了一/武蔵野音楽大学卒 群馬交響楽団員に所属ファゴット第一奏者  
とても迫力のある音色が本堂に響き渡っていました。



参道拡張

### 参道の拡張工事を行っています

鳳仙寺の参道の拡張工事を行っています。参道は車道が一車線しかない為、お盆の時には混雑しております。左側の土手にセメント壁を造り四メートルほど道路幅を広げることになりました。こちらは行政による工事ではなく当寺主導の工事です。ご不便致しますがご協力をお願いします。

四月二十九日鳳仙寺本堂に於いて、『お寺de昭和歌謡ショー』が開催されました。演奏と歌は、「ノスタルジクス」という3人組バンドで桐生市有鄰館を活動拠点として昭和歌謡の演奏を定期的に行っています。今回は施食会の前夜に演奏をしていただき



### ノスタルジクス お寺de昭和歌謡ショー

ました。昭和の懐かしい曲が流れると、参加された皆さんは一緒に唄い楽しいひと時を過ごされました。



第十二回鳳仙寺 お寺de昭和歌謡ショー

八月二十三日(日) 開演 午後五時

会場 梅田 鳳仙寺 桐生市梅田町一丁目五八

講師 神田 愛山 瀧川 鯉昇

結語 三笑亭 可也

本戸 鏡 並日 二千四百四  
前売 二千四

電話予約で当日精算受付ます  
販売・予約 藤江 隆雄・鳳仙寺・まちの国・その他

きつぷ販売予約  
おばけ寄席事務局  
0277-22-2013

# 鳳仙寺「写経の会」

第十八回写経の会開催のご案内です。今回は秋のお彼岸の初日です。日常の喧噪を離れ、静かなお寺で心落ち着くひとときを過ごしましょう。

■日時／平成二十七年九月二十日(土) 十三時より  
■場所／常磐殿  
■人数／三十名くらい  
■参加費／1000円  
■持参品 小筆(または、

筆ペンでも可)・ブンチン  
■写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。  
■スケジュール  
13時 受付  
13時15分 看経・瞑想  
13時25分 写経  
14時45分 読経  
15時00分頃 解散  
※締め切りは9月18日(金)まで



※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。  
◆お申し込み・お問い合わせは、お寺まで。  
電話 0277(32)1177  
FAX 0277(40)6000

# 大野八右衛門追善祭が開催されました。

三月二十二日(日)「大野八右衛門追善祭」が開催されました。小島実行委員長、亀山桐生市長、大野八右衛門の末裔である大野聖仁氏からご挨拶をいただきました。また、ご来賓として府中市・大國魂神社の猿渡権禰宜さま、



亀山桐生市長

八王子市役所ご一行様など多くの方々にご来山いただき有りました。また二つの講演会も併せて開催いたしました。  
①演題 『ある事件からみた桐生新町』  
講師 巻島隆氏  
(桐生文化史談会理事)



講演会の様子

「資料から見た桐生新町の成り立ち」  
講師 小野里 了一氏(桐生文化史談会理事)  
十五時半より大野八右衛門追善祭として大野八右衛門墓前にて読経を致しました。  
桐生市の商店街の礎を築いた大野八右衛門の命日に多くの方に来山・ご焼香をいただきました。ありがとうございます。

五月二十八日(木)、桐生市の国際姉妹都市アメリカのコロナバス市からコロナバス州立大学生が来山しました。鳳仙寺にも来山いただき、坐禅体験を行いました。本堂にある木魚や鐘などに興味をもったようすで、色々と鐘を鳴らしたり写真を撮ったりと楽しんでいました。今回は六日間の日程で、織物参考館で藍染め体験や和紙工房で和紙作りを

# 成道会

十二月八日は、お釈迦さまがお悟りを開かれた事をお祝いする「成道会」の日です。お釈迦さまはシヤカ族の



王子として生まれ育つ中で、何不自由のない恵まれた生活を送っていました。しかしある時「人は生まれてきた以上、必ず年老いてゆくし、また病気にもかかる。そして何より死というものは誰にでも必ず訪れる」という自然の摂理に気づかれました。この逃れようのない苦の現実をいかに受け止め、解決することが出来るのか。お釈迦さまはその答えを求めて二十九歳の時に、王子の地位も、約束された将来も、恵まれた財産も、そして家族すらもすべて出家の道へ

と入られたのでした。その後2人の修行者のもとで禅定を学び、また6年にもわたる苦行を続けられるのですが、この生活ではどうしても、本当の意味でのこの世の安らぎを得ることが出来ませんでした。  
お釈迦さまは心と体の関係を「琴」にたとえて考えました。  
「琴の弦は、緩んでいては良い音色を奏でることが出来ない。これは欲望に自らをまかせた生活である。ここに本当の安らぎはない。しかし、弦は張り過ぎると切れてしまう。それは自らの命を失うような苦行の生活だ。ここにも、本当の安らぎ

こんにちは、あなたに会えてよかった  
さあ一緒にうたいましょ♪

鳳仙寺では、毎月2回御詠歌の勉強会を行っております。御詠歌にはいくつかの流派がありますが曹洞宗の御詠歌は梅花流とよばれております。梅花流では、詠讚歌(御詠歌、和讃)のお唱えを通じ、お釈迦さま、高祖道元禅師さま、太祖瑩山禅師さまの教えを学び、その教えを「お誓い」のもと実践しようという信仰活動です。

御詠歌の功德  
「一転語」という語があります。意味は、迷いの世界から悟りの世界へ導くということです。迷い多き日常生活において、こだわらず、とらわれず、かたよらない生業を願う。そして皆と共に聞声悟道の法悦を味わって頂きたいと思っております。

御詠歌とは  
いわゆる和歌や韻文に日本古来の音楽の節を付けてお唱えする曲のことをいいます。和歌(五・七・五・七・七)のもの

御詠歌を全く知らない方、少しでも興味を持たれたら一度見学にいらしてください。皆さんで楽しくお唱えしましょう。

## 曹洞宗群馬県第八教区主催研修旅行

- 期 日：平成27年10月29日(木)～30日(金) (1泊2日)
- 旅行代金：29,800円 朝食2回、昼食2回、夕食1回込み
- 募集人員：160名(バス4台利用予定)
- 申込方法：菩提寺様に申込み金5,000円を添えて9月30日までに申込み下さい。



10/29 (木)	桐生==太田桐生IC==北関東道==岩舟Jct==東北道==上河内SA==郡山Jct== (6:00) (休憩) ==国見IC==伊達市・仙林寺曹洞宗==国見IC==東北道==村田Jct==山県道== (10:00 研修参拝 11:00) ==山県北Jct==山寺・立石寺・山寺芭蕉記念館Jct==山上温泉 日本宿 古窯 (12:40 昼食・見学 15:00) (16:40) TEL:023-672-5454
10/30 (木) 友引	山上温泉====知恵の権化 亀岡文殊尊 真言宗大聖寺====高島ワイナリー==== (9:00) (10:00 研修参拝 11:00) (11:30 お買い物 12:30) ====米沢市・上杉城史苑====長尾家・上杉家の菩提寺 曹洞宗春日山林泉寺==== (13:00 昼食 14:00) (14:10 研修参拝 15:30) =栗子トンネル=福島飯坂IC=東北道=郡山Jct=那須=八坂=上河内SA= (休憩) =岩船Jct=北関東道==太田桐生IC==桐生 (19:30)

は存在しない。」  
欲望に任せた自堕落な生活でも、命を失いかねない苦行でもない「ちょうどいい張り具合」にこそ、本当の安らぎがあるのだと感じたお釈迦さまは、苦行を離れ、身体を癒し、菩提樹の木のもとで坐禅に入りました。そして一週間の後、ついに悟りを開かれたのでした。

御詠歌だより  
鳳仙寺梅花講では、一緒に御詠歌を唱える講員を募集しております。毎月 第二・第四木曜日 午後一時から三時まで 於 鳳仙寺常磐殿  
華道教室  
第一・第三木曜日 午後一時から三時まで 於 鳳仙寺 書院  
鳳仙婦人会だより  
納涼会は八月二十八日 十二時よりシヨコラノアで行います。会費は二千円です。場所/シヨコラノア(婦人会に入っていない方でも、どうぞご参加下さい。)